

令和 8 年 9 月 30 日

関係各位

鎌倉市在宅医療介護連携推進委員会 多職種ミーティングワーキンググループ

鎌倉市介護保険課 課長 鈴木 智大

鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター センター長 宮下 明

在宅医療介護連携推進に係る「多職種ミーティング」の開催について

日頃から、本市の在宅医療介護連携推進事業に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。
医療や介護が必要な状態になっても、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、関係機関が連携していく体制づくりの一環として、本年度も「多職種ミーティング」の開催を予定しています。

お忙しいところ大変恐縮ですが、顔の見える関係づくり・連携推進の目的もございますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

2026 年度 多職種ミーティングのご案内

これからの高齢者の生活を支える支援について

～介護保険だけでは支えきれない生活支援について考える～

高齢者の生活を支える「暮らし」について

日々の訪問看護、調剤・服薬指導、介護・ケアマネジメントの現場で、服薬管理の困難、食事・栄養状態の低下、血圧や血糖値の不調などに直面することがあります。その背景には、病気や障害だけでなく、日常生活や、社会的孤立などの「課題」が隠れていることがあります。同じ方を見ていても、職種ごとに見えている景色や気付きは異なります。お互いの視点を持ち寄り、つなげることがより良い支援への鍵となります。

■ 今、高齢者の生活を支える力が不足しています

高齢になっても住み慣れた自宅で暮らしたいと願う方を支える中心的な存在が、訪問介護をはじめとする介護職です。しかし現在、介護現場では人材不足が深刻化しており、特に訪問介護職員の確保が大きな課題となっています。この問題は介護分野にとどまらず、訪問看護、地域薬局の調剤・服薬支援、ケアマネジメントなど、在宅支援全体に直結する大きな課題です。

■ ミーティングの内容と目指すこと

プログラム	① 現場の実情報告：訪問介護事業所および鎌倉市生活支援サポートセンターより、高齢者の生活を支えるリアルな現状をご紹介します。 ② 多職種意見交換：医療・介護・行政・地域の関係者が集まり、生活上の困りごとや地域資源、多職種連携でできることについて意見交換を行います。
目指すこと	制度への要望や正解探しではなく、「自分の職種からからはこう見える」「そんな支援があることを知らなかった」「この職種とつながればできるかもしれない」といった対話を通じて、顔の見える関係づくりを目指します。

患者さん・利用者さんを支えるのは医療だけでも介護保険だけでもありません。地域にある多様な力を知り、つなげるために、ぜひご参加ください。

■ 開催要項

日 時	2026 年 10 月 21 日（水） 19：00～20：50	
会 場	鎌倉市福祉センター第 1、2 会議室（神奈川県鎌倉市御成町 20-21） ＊お車でお越しの場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。	
対象	医療・介護関係者	
募集人数	先着 100 名	
お申込期間	申込締切：10 月 15 日（木） 必着	
お申込み方法	お電話：0467-81-3597（平日 9：00-17：00） または、右記 QR コードよりお申し込みください。	

【多職種ミーティングに関する問い合わせ】

鎌倉市 介護保険課 TEL：0467-61-3976

【申し込みに関する問い合わせ】

鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター TEL：0467-81-3597（平日 9：00-17：00）